

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名			コード	27820	観光資源創出プロモーション事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	観光班
基本施策			3		観光の振興	根拠法令	一般	7	1	3	☒ 主な事業（重点施策）画1		
施策の展開			7		観光情報発信の推進	戦略事業	34				☒ 国土強靱化地域計画		
施策の展開						戦略事業					☒ 新市建設計画		
											☒ 定住自立圏構想		
											☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 26 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市の豊富な観光資源の魅力を全国へ向けてPRするとともに、新たな観光資源の創出と旅行者および地元の農水・商・工業者等、関係団体との連携による着地型（体験型）観光の提案・実施により、多くの観光客の誘致を実現し、観光産業の振興と地域経済の活性化を図る。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
既存の事業では、対応できなかった市の観光資源を活かした事業の開発やPRを行う必要があると判断したため平成26年に事業を開始した。	市が企画しても、実際に事業を行う業者が消極的であったり、観光客を受け入れる体制が不十分であったりと、事業化し、民間主導にするまでには、まだ投資や準備が必要と思われる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
東総有料道路往復通行券を利用した観光キャンペーンは、市内観光業に従事している方々と連携し、市と業者、双方の積極的なPRになると評判が良い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 消耗品	1,786	通行券購入費含む	千円	-	1,997	1,008	1,786	1,586
2. 印刷製本	1,429	観光パンフレット増刷 キャンペーンポスター	千円	-	493	79	1,429	170
3. 広告料	2,783	旭市スポットCM放映料 雑誌への広告掲載料	千円	-	1,091	0	2,783	3,253
4. 旅費	62	普通旅費	千円	-	101	12	62	52
5. その他	524	通行料及び駐車料	千円	-	2,291	28	524	10,130
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 国庫支出金	0		千円	0	5,973	1,127	6,584	15,191
2. 都道府県支出金	1,008	有料道路利用観光振興事業費補助金	千円		1,008	1,008	1,008	
3. 地方債	0		千円					
4. その他	5,576	災害復興基金繰入金	千円	0	4,965	119	5,576	15,191
			千円	0	0	0	0	0

前年度増減理由	H27は事業内容の多くを観光振興事業（繰越明許）で行ったため大幅な減額であったから。
---------	--

従事職員数	常時 2人	最大 5人	× 8日 = 延べ 40人
-------	-------	-------	---------------

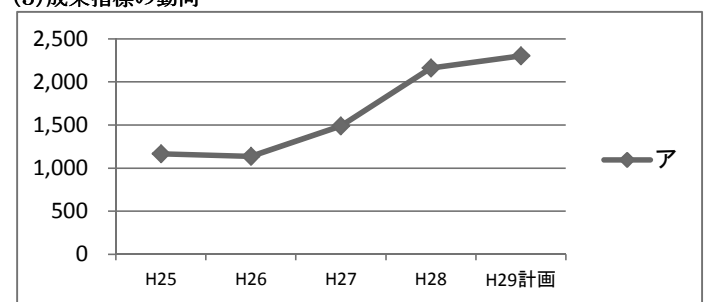
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・東総有料道路往復通行券を利用した観光キャンペーン・市外、県外にて行う観光PR・県主催観光商談会への参加・		ア 往復通行券配布枚数(2枚1組)	組	0	3,000	3,000	3,000	2,500
			イ 参加した観光PRイベント数	件	0	12	7	13	7
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 旭市を訪れる観光客 PRやキャンペーンの効果で増加する		ア 観光入込数	千名	1,165	1,138	1,490	2,160	2,302
	対象意図		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある ある程度ある ほとんどない		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい	②	①	
普通		②	(2)
		③	
小さい		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了		☐ 順調		☒ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	☒ 数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		25年度	26年度	27年度	28年度	29計画
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()						
		通年	観光素材の発掘及び創出、ツアーバスの積極的な誘致、県内県外を問わず市の観光地及び特産品のPR			通年	往復通行券の配布を伴うキャンペーンは県の補助が終了したため見直しを行う。今後、東総有料道路が完全無料化するので、さらに集客が図れるよう事業の見直しを適宜行う。								